

平成維新を実現する都民の会第4 1回運営会議議事録

※(敬称略・文責:杉原健児)

【日時】1998年11月4日(水) 18:30~21:30

【会場】新宿区立リサイクルセンター4階。

【出席】阿部悠逸・板橋光紀(途中退席)・江頭清昌・大谷和夫・桑島耕太郎・小枝尚・小俣一郎・佐藤鶴次郎・澤井正治・杉原健児・長妻昭・治田桂四郎・日野克彰・藤本欣士、以上14名。

【委任】大山悦男・小田武史・板橋光紀。

【配付資料】

- (1)11月運営会議の議題(治田)
- (2)会名変更に関する投票お願い文面(杉原)
- (3)情報公開法に関する要望書案(治田)
- (4)日野かつあき区政レポート/私の基本方針(日野)

【回覧資料】

いしん埼玉市民の会/平成維新千葉B.T./かながわ市民プレス/東海平成市民の会掲示板・ドリームランド/あしたの風・女たちの平成維新/大前研一通信/東京生活者ネットワーク会報(杉原)

【議事】(議長:小俣)

【1】議題内容の確認、委任状の確認を行った。

【2】出席者の自己紹介を行った。

【3】前回議事録を確認、原案通り承認された。

【4】治田代表からの挨拶があった。

【3】会報編集・発行について(杉原会報担当)

会報12月号の編集概要の説明があり、会報へのより一層の投稿をお願いした。

【4】各区活動報告(AM:エリアマネージャー)

<1区> 佐藤AMより報告:新宿オンブズマンの会が開かれ、学校跡地ビル建設の阻止陳情提出。

<2区> 大谷AMより報告:10月22日例会出席6名。

<5区> 治田AMより次回は11月17日例会開催予定。

<7区> 小俣AMより報告:12月5日(土)末松衆議院議員の国政報告会に皆の参加要請をする。

【5】情報公開特別特別委員会(治田委員長)

佐倉市議会から内閣総理大臣および法務大臣に提出した「情報公開法の早期制定と政府案の修正を求める意見書」の文面を多少修正した形で「陳情書または請願」として、東京都議会等たるべき機関に提出したい旨提案があり、討議した後、採決し、全員一致で了承した。なお、最終文面および提出先は治田委員長に一任し、その最終文面・提出先は、会報に掲載することとした。

【6】新B.T.思考による戦略委員会(大谷委員長)

表記委員会は10月27日にスタートし、全5回にて11月末に成果を纏めるとの説明があった。なお、中間報告を会報12月号に掲載することとなった。

【7】KANプロジェクト特別委員会(小俣委員長)

表記の活動報告があった。なお、治田委員から、長妻氏を通じ、表記活動を記者クラブに周知し、取材を期待するよう働きかけるとの報告があった。

【8】運営細則の改定について(杉原総務担当)

杉原より、以下の運営細則改定案の提案があり検討の結果、全員一致で可決した。

「運営細則8項1の3行目:「会議の構成員の過半数」を「有効投票数の過半数」と変更する」……これは前回、運営細則7項改定時の関連事項の改定漏れとして指摘された。

【9】会名変更の承認手続きについて(小枝・杉原)

(1)表記手続きのための「臨時総会を郵送」による議決で行い、「投票締切は12月31日」と決めた。

(2)上記「総会実行委員会」委員長:小枝尚、

同副委員長:佐藤鶴次郎・杉原健児を選出した。

(3)杉原より、会名変更承認手続きについての、会報12月号掲載用文面及び同会報同封の投票用葉書文面の案が提示され、討議した結果、文面を一部修正して会報掲載・葉書同封をすることとなった。

【10】会員更新会計年度について(佐藤・澤井)

会員更新の会計年度を一律9月から翌年8月までとし、移行期間の1000円・2000円・3000円の3段階の会費等、過渡期の更新手続きは、会報12月号にて明確にすることとした。

【11】選挙対策特別委員会(江頭委員長)

(1)江頭委員長より「来年4月の統一地方選」への推薦候補者発掘についての要請があった。また当会推薦は「選挙候補者推薦手続き細則」及び「選挙候補者推薦基準」によって行われるので候補者推薦は早めに手続きをするよう要請があった。

(2)次期統一地方選立候補予定の以下の各氏から、立候補表明の挨拶があった。

阿部悠逸・桑島耕太郎・日野克彰・藤本欣士。

(3)阿部氏より、当会推薦を受けた場合のメリットについての説明が必要との発言があった。

【12】首都圏市民会議特別委員会(澤井委員長)

(1)治田代表より、首都圏市民会議において個人会員を受け入れる提案が出されており、平成維新東京としても了承して欲しいとの提案があり討議した。

(2)首都圏市民会議は、元々首都圏4県の連合組織であり個人参加は認められない/発足当初から個人会員も認めるとの認識を持っている/どんな形であれ同じ目的ならば受け入れ皆で力を合わせるべきではないか、などの異なる解釈や各種意見が出された。

(3)討議の結果、賛否の採決が行われ、賛成7名(内委任状3名)・反対3名・保留1名で可決され、個人参加を了承した。

【次回】第42回運営会議:1998年12月7日(月)

18:30~21:00 新宿リサイクルセンター。

「平成維新東京」の各種活動状況

【A】東京2区・10月例会議事速報(大谷和夫)

日時:1998年10月22日(木)18:30~21:30

場所:喫茶室ルノアール蒲田西口店。

出席:大谷和夫・溝端久興・杉本年行・柳田康雄・池田静雄・栗田恵一郎、以上6名。

1. 前回議事録朗読確認

地方自治に関連して、最近東北の某県庁を停年退職したOBと話をすることがあったが、政府に援助して貰うのは当たり前で、自治意識が皆無なのに驚いた。世の中はグローバル化しているのに、政府・地方自治体には経営感覚がまるでなく、政権が変わったらアメリカのように幹部を民間と入れ替えてもしないと、「みんな仲良く衰退」してしまうのではないかというような意見があった。

2. 会名変更問題

10月の運営会議で、1票差で会名を「生活者主権の会」に変更することを生活者通信による誌上